

## 2014年秋冬ニューヨーク コレクション 最新ヘアスタイル トренд発信 アヴェダが4つのコレクションのバックステージをサポート



「ピュアな花と植物エッセンスから生まれた美と科学」に取り組んで36年目のアヴェダは、設立以来、自然界由来のヘアケア、スキンケア、ライフスタイル製品及びサービスを提供する企業であるとともに、地球環境の持続可能性を追求し、環境保全のグローバルリーダーとして様々な活動を行っています。そのひとつとして環境保全の観点からニューヨーク コレクション（以下、NYコレクション）のバックステージを持続的に毎シーズンサポートしており、その結果ペットボトル廃棄の大量削減に成功してきました。2014年秋冬コレクションでも、地球環境に対して意識が高く影響力のあるNYのファッションデザイナー4名を支援し、ショーでの環境負荷を減らしました。これは、ファッション業界における環境への意識啓蒙を図るというアヴェダならではの取り組みです。

### ■2014年秋冬コレクションでサポートしたデザイナーとその担当ヘアスタイリスト

デザイナー名	担当ヘアスタイリスト名
ANN YEE(アン イー)	ヘア担当: ジョン レイマン for アヴェダ
NOVIS(ノーヴィス)	ヘア担当: アントワネット ビンダーズ for アヴェダ
	メイク担当: ジャネル ギアソン for アヴェダ
tibi(ティビ)	ヘア担当: アントワネット ビンダーズ for アヴェダ
PUBLIC SCHOOL(パブリック スクール)	ヘア担当: アレン ルイーズ for アヴェダ

### ■環境に配慮したバックステージサポートとは

- ペットボトルの水ではなく、アヴェダが支給するアルミニウム製ボトルを使用してNY市の水道水を飲むことにより、バックステージにおけるペットボトルを削減する。
- コレクションに毛皮を使用しないと約束したファッションデザイナーを支援する。
- モデル、メイクアップ アーティスト、スタイリスト、制作スタッフ等へ提供する食事はオーガニック、地産食材とする。



## ■2014 年秋冬コレクション ヘアトレンド

- 「アン イー」はフェイクな前髪とエッジなひねりのある立体的なスタイルで大胆さを演出。既存の概念にとらわれない自由なスタイルを。



ジョン レイマン(アヴェダ ゲスト アーティスト)が今回、アン イーのコレクションのために提案したのは「エッジなひねりと後ろ髪を使って作るフェイクな前髪を組み合わせた大胆で世界観のあるヘアスタイル」。アン イーは現代の“ノマド(遊牧民)”からインスパイされて今季のコレクションスタイルを仕上げています。自身の今季のコレクションについて「冒険精神を持ち、既存の概念にとらわれない都会に暮らす人々の観念に惹かれたの」とアン イーは話している。一方、ジョン レイマンは、「アン イーは厚みのあるフェイクの前髪風のスタイルをフロント部分に創りながら、後頭部には幾何学的な直線と抽象的な立体感があるスタイルを望んでいた。そのため柔らかでツヤのある毛束を創り出すために乾燥ケアとしてドライレメディーシリーズ デイリー モイスチュア オイルを使用し、メンズ ジェルとコントロール フォースを使用して自由で美しいスタイルを完成させた」と説明した。

- 「ノーヴィス」は上品な三つ編みスタイル。抜け感がある若々しい愛らしさを。



アントワネット ビンダース(アヴェダ グローバル クリエイティブ ディレクター)とジャネル ギアソン(アヴェダ グローバル アーティスティック ディレクター メイク担当)は、表現派芸術からインスパイアを受けた、アースカラーが際立つグラフィカルで大胆な形のノーヴィスのコレクションをヘアとメイクで完成させた。アントワネットは、抜け感がありながらも顔周りを取り囲む上品な三つ編みのスタイルをピュア アバンダンス スタイル プレップとピュア アバンダンス ヘア ポーションを使用して創った。アントワネットは、「愛らしいスタイルのファッションにぴったりな若々しく、ファンキーなところがある素晴らしいヘアスタイルだ」と説明した。



- 「ティビ」ではカントリーガールと都会の融合を表現。ナチュラル、情熱、洗練が混じったヘアスタイルへ。



アントワネット ビンダーズはティビのコレクションで「カントリーガールと都会が交わったようなヘアスタイル」を創りあげた。ティビのデザイナーであるエイミー スミロヴィックは「このコレクションでは田舎と都会との融合のストーリーを表現している」と言い、また、「清純でナチュラルながらも、情熱と洗練された強い意思を感じられるヘアスタイルを表現したいと思った。洋服からヘアスタイルまで、相反するこれらの力が共存しうることを表したかった」とさらに述べている。一方、アントワネットは「髪を無造作にスタイリングし、そして潤い感とツヤ感をプラスするためにドライレメディーのオイルをすこし垂らすことで、それぞれのルックを完成させた。このヘアスタイルは非常に簡単で作り上げやすいので、ランウェイ上でも日常生活でもヒットすると思う」と言っている。

- 「パブリック スクール」はなびくような動きのあるスタイルへ。不規則さの中にある魅力を引き出して。



アレン ルーズ(アヴェダ グローバル スタイリング ディレクター)は、今回のメンズ、レディースのパブリックスクールのコレクションに合わせて、“髪がなびいているようなスタイル”を作った。「レディースではラインが重なり合い、層を成しているところからインスピレーションを受け、分け目はセンターを外し、不規則なパーツにすることでわざと不完全な印象をつくった。また後ろの部分は色々なプロダクトを重ねながら質感を作ることで髪の中に動きを作った。メンズでは、ラフで完璧じゃないものを作りたかった。かっこよくきめた感じではなく、ちょうどニット帽を取った後のヘアスタイルが、そのままキープされているようなスタイル。仕上がってなくて、でもできあがっているような感じをイメージした」と言っている。

「アヴェダの使命、それは製品づくりから社会還元まですべての活動を通して命あふれる私たちの地球を大切に守り続けていくことです。美の世界のみならず、あらゆる世界においてリーダーシップと責任をもって環境保全の模範となる企業を目指します。」

■ 読者からのお問い合わせ先 :アヴェダ 千代田区永田町 2-11-1 山王パークタワー24 階  
TEL: 03-5251-3541 (お客様相談室)

■ プレス関係の方のお問い合わせ先 : エスティ ローダー株式会社 アヴェダ事業部 マーケティング部  
PR 有吉 由妃 / 小林 彩  
TEL: 03-5251-3534 fax: 03-5251-3593

e-mail: [yariyoshi@jp.aveda.com](mailto:yariyoshi@jp.aveda.com) / [akobayashi@jp.aveda.com](mailto:akobayashi@jp.aveda.com) HP: <http://www.aveda.co.jp>